



S.Suzuki

## THE NARUO KINEN

## 第78回 農林水産省賞典 鳴尾記念 (GIII)

1着 本賞 43,000,000円 付加賞 504,000円  
2着 17,000,000円 144,000円  
3着 11,000,000円 72,000円  
4着 6,500,000円  
5着 4,300,000円

QRコード  
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳56kg、4歳以上57kg、牝馬2kg減、2024.11.30以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3kg増、  
牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝  
馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.11.29以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定  
GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

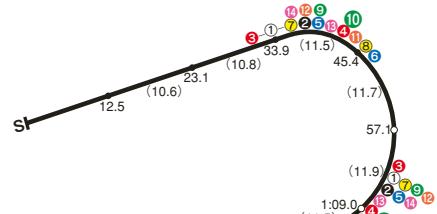
2025.12.6 阪神 晴・良 芝1800m (国際) 特指

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー (着差)	上り (通過順位 (600m))	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング	
1	⑩	デビットパローズ	駆	6	57	岩田望来	1:43.7	4-4	33.9	514(+10)	4.3(2)	上村洋行(栗東)	111
2	④	セントラブлад	牡	3	56	坂井瑠星	2	4-4	34.1	462(±0)	17.7(7)	斎藤崇史(栗東)	107
3	②	マテンロウオ	牡	6	57	横山典弘	ハナ	9-7	33.9	488(±0)	7.5(3)	昆 貢(栗東)	107
4	⑬	グラムヴィノス	牡	5	57	川田将雅	クビ	6-6	34.1	532(+8)	2.6(1)	友道康夫(栗東)	106
5	⑫	ニホンピロキーフ	牡	5	57	田口貴太	クビ	9-10	33.9	486(+4)	36.3(10)	大橋勇樹(栗東)	104
6	③	ブラックシールド	牡	6	57	国分優作	%	14-14	33.8	468(-4)	134.0(1)	小栗 実(栗東)	103
7	⑤	サンストックトン	牡	6	57	高杉吏麿	クビ	7-7	34.2	464(-4)	235.0(3)	堀内岳志(美浦)	102
8	①	オニヤンコボン	駆	6	57	武 豊	1%	13-10	34.3	460(-6)	22.0(8)	小島茂之(美浦)	101
9	⑧	ナムエラハイフ	牡	4	57	吉田隼人	%	2-2	35.3	524(+6)	10.1(5)	長谷川浩大(栗東)	100
10	⑯	オールナット	牡	4	58	北村友一	クビ	11-7	34.6	538(+14)	8.1(4)	高野友和(栗東)	99
11	⑦	ラーグルフ	牡	6	57	丸田恭介	%	11-10	34.5	502(+6)	263.6(1)	田中勝春(美浦)	98
12	⑥	ショウナンマグマ	駆	6	57	池添謙一	1%	1-1	36.1	504(-4)	58.5(1)	尾関知人(美浦)	97
13	⑨	ウェストナウ	牡	4	57	田野大成	1%	7-10	35.1	498(±0)	10.9(6)	佐々木昌三(栗東)	96
14	⑪	ドゥラエレーデ	牡	5	57	西村淳也	3	3-3	36.2	516(-8)	24.2(9)	池添 学(栗東)	95

単勝⑩430円(2着)、複勝⑩200円(2着)、④400円(7着)、②260円(4着)、枠連⑩-⑥2,390円(10着)

馬連⑩-⑩3,540円(11着)、ワイド⑩-⑩1,230円(14着)、②-⑩670円(5着)、②-⑩1,490円(20着)

馬単⑩-⑩4,960円(22着)、3連複②-④-⑩9,440円(30着)、3連単⑩-④-⑩48,840円(166着)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
33.9 - 45.4 - 57.1 46.6 - 34.7

1:43.7 (11.7) 1:32.0 (11.5) 1:20.5 (11.5) 1:09.0 (10) 1:09.0 (10)

### アラカルト

- 岩田望来騎手はヨーホーレイクで制した24年に続く鳴尾記念2勝目、JRA重賞は25年6勝目、通算18勝目
- 上村洋行調教師は鳴尾記念初勝利。JRA重賞は25年3勝目、通算9勝目
- ロードカナロア産駒はJRA重賞通算91勝目
- 6歳馬の勝利は24年ヨーホーレイクに続く通算12回目
- 賜馬の勝利は11年レッドディヴィス以来14年ぶり、通算2回目

# デビットバローズ David Barows

驅 鹿毛 2019.5.22生  
北海道千歳市 社台ファーム生産  
馬主・猪熊広次氏 栗東・上村洋行厩舎  
馬名意味・人名より+冠名

フェンジャーFR系 F1-u	
ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001 Kingmambo
	マンファスIRE Storm Cat
フレンチビキニ 鹿毛 2002	レディプラッサム 鹿毛 1996 サラガタデュUSA
	サンデーサイレンスUSA 青毛鹿 1986 Halo Wishing Well
	フェンジャーFR 青毛鹿 1994 Saumarez Belle et Chere

5代までのインブリード: Northern Dancer S 5×M5

## INTERVIEW

東礼治郎 場長(社台ファーム)

### 去勢したことすべてが好転しました

本馬はオンライン開催の21年千葉サラブレッドセール取引馬です。猪熊オーナーのご理解もあり、遅生まれを考慮してゆっくり進めていきました。若いうちから馬っ気があり上村厩舎の皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、5歳時に去勢したことすべてが好転しました。阪神芝1800mが最適条件とはいえ、満点の内容で勝ってくれたので牧場全体が大盛り上がりでした。



S.Naka  
2023 鳴尾記念  
10 デビットバローズ

2012年から24年にかけては「宝塚記念のステップレース」として、6月に行われてきた鳴尾記念は、25年から暮れの阪神開催の開幕週に移設。舞台も外回り「コースの芝1800m」に変更(従来は内回りの芝2000m)され、新たなスタートを切った。新装初年度のレースで断然の支持を集めたのは、兄姉に3頭のGIウイナーを持つ良血馬グラントヴィノス。とはいえ、「4きょうだいJRA重賞制覇」の成否も注目された同馬は4着に敗れ、勝利の重配はやはり重賞勝ち馬の半弟にあたる良血馬、2番人気のデビットバローズにあがつた。

### 父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央・香19戦13勝(香港スプリントG1 2回、安田記念G1、スプリンターズS G1 2回、高松宮記念G1)、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20~25年日本リーディング2位  
〔代表産駒〕アーモンドアイ(ジャパンC G1 2回、ドバイターフ・首G1、天皇賞(秋)G1 2回、牝馬三冠)、サートゥルナーリア(皐月賞G1、ホープフルS G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリントG1、高松宮記念G1)、パンサラッサ(ドバイターフ・首G1、サウジC・沙G1)、ペラジオオペラ(大阪杯G1 2回)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップG1)、サトノレーヴ(高松宮記念G1)、ファストフォース(高松宮記念G1)、プレイディヴィエーグ(エリザベス女王杯G1)、コスタノヴァ(フェブラリーソンG1)、他に重賞勝ち馬多数

### 母フレンチビキニ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央17戦4勝。20年用途変更  
オレンジビキニ(09 牝父タニノギムレット)中央7戦0勝、地方3戦2勝  
ビキニクイーン(10 牝父キングヘイロー)中央4戦0勝  
ペリレミエール(11 牝父スウェプトオーヴァーボードUSA)中央28戦4勝(長岡京S、久多特別、阪神牝馬S G1 2着、ニュージーランドトロフィーGII 3着、北九州記念GIII 3着)  
ヴゼットジョリー(14 牝父ローエングリン)中央14戦3勝(新潟2歳S GIII、月岡温泉特別)  
ペレスール(16 牝父スウェプトオーヴァーボードUSA)中央7戦1勝(ファンタジーS GIII 2着)  
ピキニパレード(18 牝父キングカメハメハ)中央1戦0勝  
〔代表産駒〕デビットバローズ 本馬(19 駆父ロードカナロア)中央18戦6勝(鳴尾記念GIII、大阪城S・L・寿S、須磨特別、春日井特別、洛陽S・L2着、大阪城S・L2着、巴賞G2着)獲得総賞金166,393,000円  
※12、15(流産)、13、17、21(不受胎)、20(前年種付せず)

### 祖母フェンジャーFR

仮3勝(ロンドドゥニユイ賞・L)、98年輸入。05年死亡  
〔代表産駒〕フレンチアイディア(01 牝父サンデーサイレンスUSA)中央3勝(日田特別、くすのき賞、忘却な草賞G2着)  
フレンチビキニ(02 前出)  
〔曾祖母〕ベルエシェール Belle et Chere

アメリカ産 仮0勝 ハイメア High Mare(クリテリウムドルウェスト・仮L2着)の母

# 一枚上の末脚を発揮して初の勲章を掴む

2012年から24年にかけては「宝塚記念のステップレース」として、6月に行われてきた鳴尾記念は、25年から暮れの阪神開催の開幕週に移設。舞臺も外回り「コースの芝1800m」に変更(従来は内回りの芝2000m)され、新たなスタートを切った。新装初年度のレースで断然の支持を集めたのは、兄姉に3頭のGIウイナーを持つ良血馬グラントヴィノス。とはいえ、「4きょうだいJRA重賞制覇」の成否も注目された同馬は4着に敗れ、勝利の重配はやはり重賞勝ち馬の半弟にあたる良血馬、2番人気のデビットバローズにあがつた。

手綱を押して先手を主張したショウウ

デビットバローズが逃げ馬を撃撃するよう抜け出しをはかる。なかでも直線に向き、ひと呼吸置いてから追い出されたデビットバローズは一枚上の末脚を発揮。センシングランドを突き放し、悠々とゴールを駆け抜けた。

新潟2歳Sを勝ったヴゼットジョリーの半弟、ロードカナロア産駒の本馬は前年の函館記念で大敗(16着)した後に去勢手術を受け、2月に戦列へ復帰。3月の大坂城Sでオーブン初勝利を挙げた。続くエフソムCは9着、しさぎSも9着に敗れたものの、5ヶ月余りの休養を挟み、態勢を立て直されて臨んだこの日は「横綱相撲」といえる走りで初の勲章を得た。去勢前から確かな能力を認められてきた素質馬だが、